



学習資料展

道どう具ぐがか変かええるる わわたたししののくくららしし

～過去かこからかるら未み来らいへ向むかかう記き憶おぼ～



観覧
無料

令和2年12月5日(土)

令和3年1月31日(日)

時 間：午前9時30分から午後5時まで
休館日：毎週月曜日(ただし祝日は除く)
年未年始(12/29～1/3)、1/12～14
会 場：相模原市立博物館特別展示室
1階休憩コーナー

同時開催 開館25周年記念企画「色々な石」展



道具が変わる わたしの暮らし

学習資料展では、小中学校の学習に役立てていただくために、博物館の収蔵品を通して、ちょっと昔の暮らしを紹介します。今年、家庭で使われていた道具や暮らしの移りかわりを、市民のみなさんの体験エピソードとともに展示します。子どもたちだけでなく、大人のみなさんにも楽しんでいただける内容です。



黒電話

(約55年前)
東北の田舎で電話がある家は稀でした。「呼び出し」と言って、近所の〇〇さんを呼んで、と掛かってくる事があり、幼い頃から手伝いで走りました。

今年の
ジオラマは
台所



ジオラマ：電化製品普及前の台所

電化製品が普及する前と後、2つの時代のジオラマを展示します。



電気炊飯器

(約55年前)
幼いころ、家ではお釜でご飯を炊いていて、よく焦がして、真っ黒な炭のようなご飯を食べさせられていました。電気炊飯器の登場によって、スイッチを入れてちょっと待っていれば、美味しいご飯が炊きあがるようになり、夢のようなことでした。



ワープロ

(約35年前)
職場にワープロが配備され、下手な字をさらさなくていい上に、データ保存ができ、またデータを修正して何度でも使い回せることに、至高の利便性を感じました。

※資料は全て相模原市立博物館蔵



白黒テレビ

(約60年前)
娯楽のない田舎では、プロレス・野球・相撲などの中継には多くの人がテレビのある家に集まり観賞しました。皆テレビの前で正座して食い入るように観ました。

【相模原ふるさと いろはかるた】

博物館ボランティアの「市民学芸員」が作った、市内の名所・旧跡などが多数紹介されている、いろはかるたです。絵札・読み札のほか、解説文もあり、英文の解説までついています。相模原市立博物館に10組あり、貸出しも可能ですので、ぜひ、授業や講座などで活用していただくと幸いです。



学習資料展キャラクター
未来ちゃん 大地くん

【感染拡大予防にご協力ください】

- ・発熱や体調不良時のご利用はご遠慮ください。 ・咳エチケット、手洗い、手指消毒にご協力ください。
- ・マスクを必ず着用してください。 ・密集状態を避けるため、人数制限を行う場合があります。

交通のご案内

- 淵野辺駅南口から
 - 徒歩20分
 - バス青葉循環博物館廻り(淵37系統)で「市立博物館前」下車すぐ
 - バス青葉循環共和廻り(淵36系統)「市立博物館前」下車すぐ
- 相模大野駅から
 - バス相模原駅行き(相02系統)で「宇宙科学研究本部」下車5分
- 相模原駅から
 - バス相模大野駅行き(相02系統)で「宇宙科学研究本部」下車5分
- 上溝駅から
 - バス淵野辺駅行き(淵53・59系統)で「弥栄」下車8分

